

家畜衛生だより

From 中央家保 牛用



中央家畜保健衛生所・中央動物防疫協議会
〒262-0011 千葉市花見川区三角町656
Tel:043-250-4141 (夜間・休日対応)
Fax:043-286-0090
(公社)千葉県畜産協会



牛ウイルス性下痢 (BVD) バルク乳検査のお知らせ



BVD清浄化のため、令和3年度もバルク乳検査を実施します。

検査希望者のとりまとめは、各生乳出荷組合(各酪農農業協同組合または各農業協同組合)が行います。

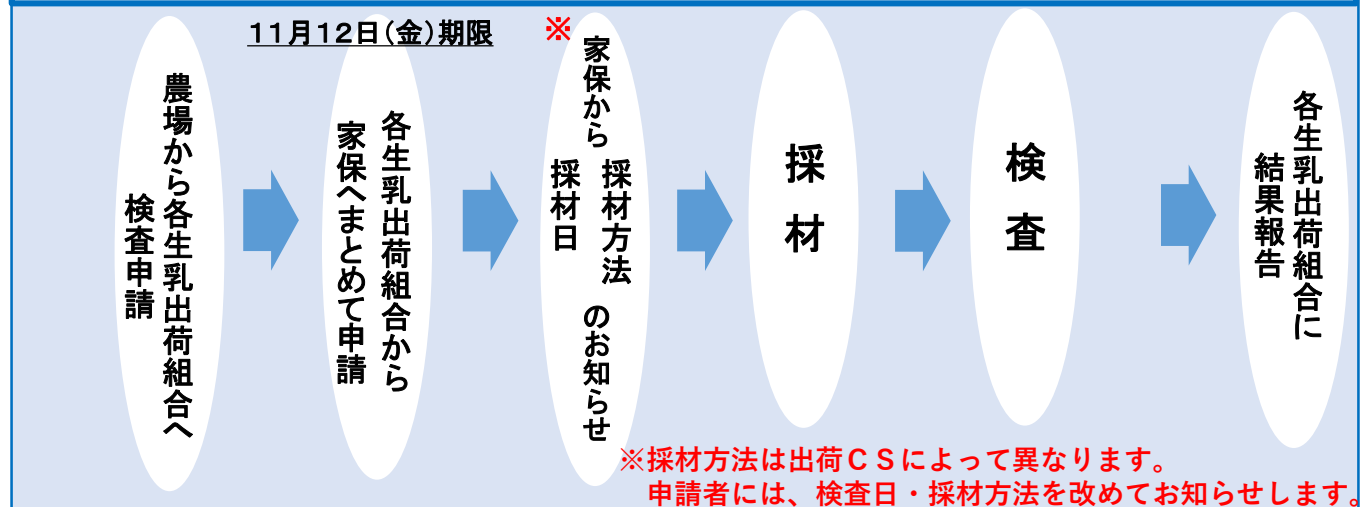
希望の有無を所属の生乳出荷組合へ回答してください。

☑11月12日(金)が組合から家保への報告期限となっておりますので、お早めに御回答をお願いします。

※【参考様式】バルク乳検査希望調査を利用する場合、用紙を組合へ提出
実施スケジュール: 令和3年11~12月に1回のみ実施

検査料金: 無料

検査の流れ



- ・ バルク乳検査は搾乳牛のみのスクリーニング検査です。
- ・ 乾乳牛や育成牛の検査はできません。期間を空けて2回目の検査を行うことがスクリーニング検査としては望ましいです。
※2回目の検査をする場合、検査機関は下記のとおりです(有料)。
 - ①民間検査会社(日本動物特殊診断(株)、(株)家畜健康管理HALC、全農クリニックセンター 他)
 - ②家畜保健衛生所(検査結果判明まで1~2週間程度要する場合あり)
- ・ 乾乳牛、育成牛及び子牛について、BVD検査を希望する場合、中央家畜保健衛生所まで御相談ください。(個体検査は有料です。)

県内で牛のヨーネ病が発生

【概要 1】

発生日 令和3年9月29日
農場 県北東部の乳用牛飼養農場
患畜 成牛2頭（北海道からの導入牛）

【概要 2、3】

発生日 令和3年10月7日、14日
農場 県北部の乳用牛飼養農場
患畜 成牛3頭（うち導入牛2頭、自家産1頭）、
子牛1頭（同居子牛の検査で陽性となる。）

※いずれも臨床症状無し

◎ヨーネ病は牛、めん羊、山羊等の反すう動物に慢性的な下痢、乳量の低下、削瘦等の症状を引き起こす病気です。感染畜は発症していなくとも糞便中に排菌し、他の家畜への感染源となります。ワクチンや治療薬は無いため、発生時は法律に基づき殺処分となります。

☆下記項目を再確認しましょう！

- ・農場への牛の導入について、導入元農場がヨーネ病陰性農場であることを必ず確認する。
- ・牛舎内（特に牛床、飼槽およびウォーターカップ）の定期的な清掃、洗浄および消毒。
- ・農場入口への消石灰の散布の定期的な実施。
- ・作業用長くつの洗浄・消毒。
- ・毎日の健康観察と、異状発見したら早期に家畜保健衛生所まで連絡を。

家畜の様子がおかしいと思ったら、
お問い合わせ・ご連絡は、千葉県中央家畜保健衛生所まで
TEL. 043-250-4141 (夜間・休日転送) FAX. 043-286-0090
※必ず5回以上コールしてください

バルク乳検査希望調査

氏名 _____

- ・ 希 望 す る ・ 希 望 し な い

バルク乳を用いたBVD検査を希望する場合は下記の項目に記入してください。

記 入 欄

⇒農場名

⇒農場住所

⇒出荷先

クーラーステーション

⇒連絡先

TEL :

FAX :

【提出先】

所属の生乳出荷組合へ送付してください